

第2回 村上市総合教育会議 議事録（要約）

会議の名称	第2回村上市総合教育会議
開催日時	令和2年1月28日（火） 13:30～14:50
開催場所	朝日支所 2階 第1会議室
出席者	<p>【構成員】</p> <p>高橋市長            遠藤教育長            横山教育長職務代理者</p> <p>大滝教育委員    本図教育委員        板垣教育委員</p> <p>【傍聴者・報道関係】</p> <p>なし</p> <p>【事務局】 竹内総務課長            菅原学校教育課長            板垣生涯学習課長</p> <p>平管理主事   磯部指導主事   船山学校教育課長補佐    永田生涯学習課長</p> <p>補佐    長谷部総務課参事   高坂総務課主事</p>
次第	<p>1 開 会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 意見交換</p> <p>過去の総合教育会議における提案事項の検証について</p> <p>① 東京 2020 オリンピックに向けた取り組み</p> <p>② 部活動指導を外部指導者にフォローしてもらう体制づくりについて</p> <p>③ 学校における私塾の活用について</p> <p>④ その他</p> <p>5 その他</p> <p>次回の会議日程について</p> <p>6 閉 会</p>
1 開 会（進行：総務課長）	
2 市長あいさつ	
3 教育長あいさつ	
4 意見交換	<p>①東京 2020 オリンピックに向けた取り組み</p> <p>資料 ・【検討表No.4】 東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて</p>
総務課長	進行につきましては、村上市総合教育会議置要綱第6条の規定によりまして、高橋市長が行います。それでは高橋市長お願いします。
市長	それでは東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みについて事務局から説明をお願いします。
生涯学習課長	平成 27 年度第 2 回総合教育会議において、「東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた競技人口の育成について」という検討課題が出されました。具体的には、オリンピック競技人口の拡大や将来オリンピックに出場するような子ども

	<p>たちの育成の必要性、スケートボードがオリンピックの正式種目に選定されたことを踏まえて、地域の特色を生かした振興の在り方を考える取り組みを進める必要性があるといったご意見・ご提案をいただきました。それに対して、取り組んできたことは、①2019年4月に国内最大級の村上市スケートパークが完成し、「スケートボードの聖地」むらかみを目指して選手の育成・強化に取り組んでいます。また、初心者スクール等を開催して底辺の拡大にも取り組んでいます。②オリンピック・パラリンピック開催によるスポーツへの関心の高まりを逃すことなく、オリンピック・パラリンピック関連事業に積極的に取り組んでいます。また、聖火リレーの開催に合わせ、フェスティバル等のイベントも予定しています。こうした取り組み状況を踏まえ、十分に意見・提案を反映できているとの評価をいただきました。オリンピック選手の輩出までには至っておりませんが、オリンピックに向けて様々な取組をさせていただいているところであります。</p> <p>聖火リレーについては、令和2年6月6日に村上市スケートパークから岩船港港湾緑地までの2,770mを14人でリレーをし、沿道やゴール地点では様々な催しを計画しております。続いて、聖火フェスティバルについては、各自治体が火を起こせる「採火」を8月15日に予定しています。その後、採火した火を市内5地区で展示、新潟県の火として集火し、東京へ出立します。ちなみにこの詳細については2月6日の日に報道発表を予定しています。私からの説明は以上です。</p>
市長	<p>ありがとうございました。それでは皆さんに意見をいただきたいと思いますが、14人のリレーメンバーはすでに発表されているのですか。</p>
生涯学習課長	<p>まだ発表はされていません。そもそもどこを誰が走るのかさえも組織委員会から情報提供がなされておられません。</p>
市長	<p>いつごろわかるのですか。</p>
生涯学習課長	<p>ぎりぎりにならないとわからないとのことでした。</p>
教育長職務代理者	<p>オリンピックに向けた合宿等の誘致活動について、具体的な活動内容を教えてください。</p>
生涯学習課長	<p>スケートボードの団体の方には、ぜひとも来ていただきたいと誘致活動はしております。</p>
市長	<p>スケートパークのコンセプトは、オリンピックの1年前にオープンし、施設のアピールをしていくところにあります。ホストタウンとして選択してもらうためには、オリンピック開催の2年前にはスケートパークができていなければならなかったと思います。ですが、インドネシアの団体と韓国の団体の誘致には成功しました。いずれもナショナルクラスのチームです。特に韓国の団体は、スケートパ</p>

	<p>ークのインスタグラムから興味をもって合宿場所を選んだという経緯があるようです。他にも3か国ぐらいからオファーがあるようですが。</p>
生涯学習課長	<p>はい。3か国ぐらいの方に合宿等でスケートパークを活用していただけるという動きで話を進めています。</p>
教育長職務代理者	<p>なぜこの質問をしたかという、誘致活動についてもっとアピールしたほうがよいと思うからです。せっかくインドネシアや韓国の誘致活動に成功したといっても、外からはその活動及び成果が見えてこないのが現状だと思います。だから、ぜひともアピールしていただきたい。</p>
市長	<p>メディアには露出させるべきですね。</p>
生涯学習課長	<p>今、テレビ関係も2つくらい予定に入っております。新聞報道もあります。</p>
市長	<p>先ほど板垣課長からスケートボードの団体のお話がでしたが、平沢勝栄さんが会長を務めている日本スケートボード連盟（現ワールドスケートジャパン（WSJ））というのがありまして、こういった団体には、私からも国内のメジャーな大会の誘致等ロビー活動はさせていただいております。また、日本全国でローラースケートができる施設を有している自治体は、25しかありません。その中で、南魚沼、二本松、村上市の3市が中心となって自治体団体の制度設計をさせていただいています。参考までにお話をさせていただきました。他にありますか。</p>
教育委員	<p>「スケートボードの聖地」むらかみということで、本当にスケートボードの聖地を目指すならば、その地域の子供から大人までみんなスケートボードをしたことがあるというようになっていかないと難しいと思います、具体的には、中学校の部活動や小学校のクラブ活動等にスケートボードを加えるというようにどの子もスケートボードをしたことがあるという状態をつくりだしていくというのはいかがでしょうか。</p>
市長	<p>素晴らしい。その通りですね。</p>
教育長職務代理者	<p>今のお話をきいていて、ぶどうスキー場を思い出したんですが、以前よりは市内の小学生もスキー教室をするようになりました。これは、市がぶどうスキー場を整備し続けた成果だと思います。同じように、スケートボードについても市が取り組みを進めていけば、同じように浸透していくと思います。また、スケートパークにはボルダリングの施設もあるので、ボルダリングの団体の誘致にも取り組んではいかがでしょうか。オリンピックの正式種目にもなりましたし、もっと活用の幅を広げていくというのはどうでしょうか。</p>

市長	残念ながらスケートパークにあるボルダリングは競技としては使えないのですが、活用の幅はいくらでもあると思います。先ほど本図教育委員もおっしゃっていましたが、部活動にもしていきたいですね。一つの学校だけではなく、学校をまたいで全体で部活動を行うことも可能ですからね。
教育長	講習会はやっていますよね。
生涯学習課長補佐	各地区でやっております。
市長	ウェルネスだけ、希楽々だけではなくて、村上市総合型で、市民全体に生涯学習ないしスポーツを提供していきたいですね。教育委員の発言も含めまして、引き続き議論をしていきたいと思います。

② 部活動指導者を外部指導者にフォローしてもらう体制づくりについて

資料 ・ 検討表 No. 13 部活動指導員の制度化について/部活動指導員配置事業状況

市長	それでは、担当課から説明をお願いします。
学校教育課長	～資料の説明～
市長	それでは皆さんからご意見をいただきたいと思います。
教育委員	指導員は常に3名が限度なんですか？
学校教育課長	今年度は3名お願いしています。来年度は、各中学校に1名ずつお願いしております。
市長	限度なく全ての中学校に配置できるということですか。
学校教育課長	はい。そうです。
教育委員	それはいろいろな部活動の指導員としてでしょうか。それともそれぞれ別々の指導員でしょうか。
学校教育課長	現在は、3つの中学校でサッカー・バレー・バスケットとなっておりますが、来年度からはそれぞれの中学校に指導員を置いてもらうよう検討している状況です。
教育委員	指導員配置校としてどうして村上第一中学校・東中学校・神林中学校の3校が選ばれたのでしょうか？遠征などが多く、先生の負担が大きいからでしょうか。
学校教育課長補	この制度は今年度から村上市で取り入れました。制度導入前に、各学校に、「部活

佐	<p>動指導員制度があるけれども必要な学校はありますか」と募りましたところ何校からか手が上がりました。ですが、これからなくなる部活動をあげてきた学校については今回見送りました。これから続いていくのであろう部活動をあげてきたのがこの3校でした。</p>
教育長	<p>全部で5校名乗り出てきました。そもそも学校の要望がなければ、配置する必要もないですし、要望してもその地区に適任者がいなければ、なかなか配置は難しいです。同じ学校が別の競技であげてきた場合もありました。こういった事情も考慮した結果、この3校になりました。</p>
市長	<p>この方たちは、指導員になっても本来の勤務に支障はないという認識でよいでしょうか。</p>
学校教育課長補佐	<p>部活動の始まる時間帯は、多くの方が勤務している時間です。適任者を見つけるのは容易でないというところもありました。実際、外部指導者を部活動指導員として採用することもあります。</p>
市長	<p>全部で7校のうち2校はそもそも手をあげなかったとのことですが、2校は、教職員の勤務の体制として支障はないからあげなかった、そういうことですか。</p>
教育長	<p>学校がどのように受け止めているのかはわかりません。例えば、サッカーの専門家がすでについて指導員の配置は必要ないとか、その逆として指導員が来てくれれば業務量の軽減になるとか、どのような受け止め方をしているのかは検証していませんでした。</p>
市長	<p>検証したほうがいいと思います。働き方改革が進んでいる中で、容易でない思いをしているところは少なからずあると思います。どこを視点として進めるのか、というのは教育委員会が指導的な立場として働きかけていかなければなりませんね。</p>
教育長	<p>今ほどもありましたが、働き方改革の中で、「勤務時間以外の在校時間が月45時間以内、年間で360時間以内」というガイドラインが、来年度より指針に格上げされて、法的な裏付けのある制度になります。学校はやはりこれらを守らなければなりません。となれば、中学校の部活動が本当にネックになってきますので、部活動指導員を活用することによって少しは勤務時間の短縮につなげることができのではないかと思います。その意味で教育委員会もしっかりした考え方をもって学校に働きかけていかなければならないと思います。</p>
教育委員	<p>部活動指導員の人選については、各学校に任せているのでしょうか。</p>

学校教育課長	任せています。
教育委員	そうすると、もしその地区に指導員としての適任者がいない場合、あきらめざるを得ないというような事態が考えられるのですが、教育委員会で人材バンクのようなものを置くことはできないのでしょうか。以前、スポーツ関係だけではなく文化関係でもそのようなものをつくった記憶があるのですが、個人からしたいこと・できることを申請してもらい、それを1つにまとめると学校も活用しやすいと思います。そのようなことはできないのでしょうか。
学校教育課長	はい。学校が活用しやすいものがあるといいと思います。検討させてください。
教育長	各中学校は、概ねどのような指導者がいるのかということについて把握しているはずですが、その中で外部指導者の中から誰を部活動指導員にさせるのかという考えも持っているのだと思います。例えば、山北でバドミントンを教える人を求めている時に、村上・朝日地区から行ってくれるかということ、リストを作ったとしてもなかなかそれは難しいと思います。我々もこれまで関わった方のリストはありますので、学校から誰かいないかと言われれば示すことはできます。学校の意向も含めて研究していかなければならないと思います。
市長	教育長のお話にもありましたが、居住地からのアプローチはなかなか難しいところがあります。例えば5地区全体が1つの組織のようなイメージはどうでしょうか。山北に配置されているウェルネスの職員が、指導員として朝日に行くとか、将来的にはそうなるのでしょうか。人材バンクの件も含めて、ぜひ引き続き検討をお願いします。ちなみに年間活動予定時間数 210 時間の根拠は何ですか。
学校教育課長補佐	文部科学省から各地方公共団体への補助金の上限が 210 時間とされておりますことを根拠としております。515 時間が部活動に想定される必要な時間なのでしようが、210 時間を採用しています。
市長	その 515 時間というガイドラインをはじきだすための部活動の1日の活動時間は何時間なのですか。
学校教育課長補佐	平日5日のうち4日で、それが2時間。週休日は土日いずれか1日3時間までです。
市長	そこに引率等の時間を合わせるイメージですか。
教育長	どちらかというと国や県は、指導員は土日の部活動を担当するようなイメージを持っています。平日の部活動まで全部任せるという発想ではないのだと思います。

市長	それは全て任せるという発想にしたほうがよいと文部科学省に言うべきですね。実態として部活指導員はどういった活動をしているのですか。
学校教育課長補佐	非常勤講師をされている先生が部活動指導員というケースがありますが、その先生は平日に指導をしています。制度としては、平日だけとか休日だけといったルールはありません。実態は平日だけ指導されている方もいますし、土日だけ指導されている方もいますし、様々です。
市長	学校に任せているということですよ。教育委員会のスタンスとして、まちまちで学校経営はいいのですか。
教育長	教員の負担軽減を主として考えるのであれば、平日休日関係なく、指導員が行ったほうがいいのでしょうか、それを1人の者にさせるとなると、人数を制限しなければならないので、せめて210時間働ける人を国はたくさんばらまこうとしているわけです。ですので、その指導員制度の使い方は、原則土日祝日ですが、学校によっては平日使うところは平日つかっているというイメージだと理解しています。
市長	指導員の時間は210時間がマックスだと決められているのですか。
学校教育課長補佐	決められています。
総務課長	補助対象が210時間までという意味ではないのですか。
教育長	そうではありません。例えば、210時間以外に指導をして事故があると責任が取れなくなります。
市長	ちなみに令和2年度から7校に指導員を配置ということですが、実際に必要な指導員の数は何人なのですか。
学校教育課長	そこまでは把握していません。
市長	例えば、第一中学校にはサッカー部の他にどんな部活がありますか。
学校教育課長	バレーボール、バスケットボールなどがあります。
市長	そこが先生の負担が大きいので軽減されなければならない、つまり、部活動指導員が必要ということですよ。ということは、現在指導員がいるサッカー部を含めて第一中学校には本来3人の指導員がいなければならないわけです。

学校教育課長	外部指導者も何人かおります。
市長	外部指導者を廃して部活動指導員だけという仕組みにはならないのですか。
学校教育課長	外部指導者は、生涯学習課の事業でして、ほぼボランティアのような立場でしていただいております。
市長	イメージしてみてください。外部指導員は年間2万2,000円、その一方で、部活動指導員は、1時間1,600円です。この2人は同じ指導をするわけです。不公平感があると思いませんか。外部指導員から部活動指導員に鞍替えしてもらおうとか考えなければなりません。現実問題として、神林中学校の男子バスケットボール部に希楽々の職員が入っています。けれども、部活動指導員にとっては外部指導員がいるからやりにくいのです。そういった事情まで考えなければ、子どもたちにもおかしなニュアンスで受け取られかねません。そしてそれはこちらが制度設計をしてやらないとならないわけです。
教育長	例えば、村上第一中学校サッカー部の部活動指導員がいたとして、3年以上一中にすることはできませんが、東中のサッカー部に行くことは可能です。要するに1つの競技で3年間面倒をみるという制度です。だから例えば、一中のサッカー部の指導員を雇用できなくなったら一中には今度、バレー部の指導員を雇用するようなことは考えられると思います。
市長	現場から3年以上いてほしいという声があったときに、制度上それはできませんと言わざるを得ないというのは困った制度だと思います。よく研究してもらいたいところですね。
教育長	先ほど中学校にスケートボード部を新設するようなお話がありましたが、市内の中学校では部活の数を減らす方向になっています。ですが、教員の忙しさは変わらないという状況です。部活の数を減らし、複数顧問制にして外部指導員の力も借りながら半々の勤務にするという方向を目指してはいます。また、先ほど市長がおっしゃいましたとおり複数の学校の子どもが参加できるような部活動の仕組みも考えているところです。
市長	部活の数を減らしてしまうと、子どもたちの本来の選択肢を奪ってしまいますよね。大会等の出場に支障は生じないのですか。
教育長	中体連主催の大会には出られる方法があると聞いてはいます。
学校教育課長	具体的な種目は聞いていませんが、学校単独では人数が足りない場合、合同で出場するということがあります。



教育長	野球であれば、例えば一中に9人いれば、他校とチームを組むことはできません。もし、一中に8人、東中に7人であればチームを組むことができます。1校で十分に人数がいればチームを組むことはできないと中体連が禁止事項を設けています。
③「未来塾」の規模拡大に伴う講師の確保について 資料 ・ 検討表 No. 14 文部科学省ホームページ抜粋 ★私塾の活用事例/未来塾・土曜学習進捗状況	
市長	それでは担当課から説明をお願いします。
学校教育課長	～資料説明～
市長	大東市の子ども数は全体でどのくらいですか。
学校教育課長	中学校で3,000人、小学校で6,000人くらいです。
教育委員	2014年ごろ三条市で能開センターを活用するようになりました。聞いたことはありますか。
学校教育課長	三条市の例は聞いたことがありませんでした。
市長	活用したほうが学力は劇的に伸びると思います。確信めいたものがあります。
教育長	市長がイメージされてる私塾の活用によってどのようなレベルの子どもを育てたいのですか。
市長	教育の根本に関わることなので、脳を鍛えていくことは大切だと思います。いろんな方向で活躍できる子を育てていかなければならない。具体的には、中等教育学校が結果を出していますよね。実体験もあるのですが、やはり環境づくりに取り組んでやる必要がありますよね。
教育長職務代理者	市と私塾の連携とありますが、実質、1,000円とか2,000円を利用者からもらっているわけですよね。市からの持ち出しもあるでしょう。このお金をとるということ自体についてよいのかどうか検討していく必要があると思います。もちろん、私も学力は向上すると思います。ですが、連携というのが、単純に望ましいのかも考えなければなりませんよね。
市長	もともとの私塾の活用イメージとして、遠隔地にいる子どもでも市街地の子供たちと同じように学習を受けることができるというものなのです。ですから、お金をとろうということがメインとしてあるのではなく、インターネットを使った授

<p>教育長職務代理者</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>	<p>業などの学習環境を提供したいということが目的としてあります。未来塾のような学校主催の場に私塾の先生が赴き、インターネットにより授業を配信するようなイメージを展開できるとよいですね。</p> <p>国も地域未来塾については、積極的に ICT を活用しながら進めていますよね。ですが、条件整備に時間がかかります。私塾を含めて検討していただきたいです。</p> <p>どちらかという国は学習が遅れがちな子どもたちを第一義的に対象としています。それも経済的格差の中で支援をするという目的があると思います。能力はあるが塾に行けないといった子どもたちの願いを聞きながら今後も研究をしたいと思います。</p> <p>市としては、子どもたち本人の望む方向を選択できるようにしてあげる環境を用意したいと思います。戸別受信機の普及率は 100 に近いのですよね。同様に学習用端末を各家庭に整備するといったことを進めていきたいと思います。</p>
<p>③その他</p>	
<p>5 その他 次回の会議日程について</p>	
<p>総務課長</p>	<p>今年度の総合教育会議はこれにて終了となります。来年度は例年 6 月ごろに第 1 回会議を開催しておりますので、またその頃にあわせて案内を出させていただきますと思います。ありがとうございました。</p>
<p>6 閉会</p>	